

九州歴史資料館 平成31年度 九歴講座 第1期のご案内

－第1回(4月)～第4回(7月)のご案内－

毎月第2土曜日の13:30～15:30に、「九歴講座」を開催いたします。

事前申込は不要です。受講を希望される方は、以下の内容をご確認の上、当日ご来館ください。

1 講座の内容

いずれの回も13:30開始。終了は15:30(若干延びる場合もあります)。入室は13:00。

	開催日	タイトル	講師(敬称略)	講座の概要
第1回	4月13日 (土)	徳田玉龍 —朝鮮の霊峰を描く—	國生 知子 甘木歴史資料館 副館長	朝倉市出身の日本画家・徳田玉龍(1883-1958)は、写真家の兄とともに朝鮮に渡り、彼の地の霊峰金剛山を数多く描きました。甘木歴史資料館が所蔵する作品や関係資料に基づいて生涯をたどり、激動の時代を精力的に生きた画家の活動を追います。
第2回	5月11日 (土)	筑豊炭田遺跡群の 歴史的価値について —目尾炭坑跡を中心に—	嶋田 光一 飯塚市歴史 資料館館長	筑豊における炭鉱遺跡の保存と活用の歩み、近代遺跡と文化財の類型、筑豊炭田遺跡群の国史跡指定に向けた取り組み、筑豊炭田の歴史、目尾炭坑の発掘調査の成果とその歴史的な価値について紹介します。
第3回	6月8日 (土)	屋形古墳群と 筑後の装飾古墳	吉村 靖徳 九州歴史資料館 文化財調査室長	昨年、国史跡の追加指定を受けたうきは市・鳥船塚古墳は、いずれも装飾を持つ屋形古墳群の一角を占めます。当時の葬送観念や地域間交流を考える材料となる装飾古墳が密に分布する筑後地域を中心に県内の装飾古墳について概観します。
第4回	7月13日 (土)	福岡県の近代和風建築	松本 将一郎 福岡県教育庁 文化財保護課	幕末、明治以降に建てられた「和風」建築を「近代和風建築」と総称します。その中には日本の伝統建築に西洋の技法・意匠を取り入れた新たな和風表現もみられます。本講座では平成27～29年度に実施した「福岡県近代和風建築総合調査」の概要を報告します。

2 会場 九州歴史資料館 2階研修室

3 定員 いずれの回も先着160名

4 受講費用 **無料**

5 申込・入室の仕方について

事前の申込は必要ありません。11:00より、エントランス受付前にて整理券を160番まで配布します。

13:00より、係員が整理券の番号順に入室のご案内をいたします。

6 問い合わせ先 九州歴史資料館 〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3 TEL 0942-75-9501



皆様のご来館を、心よりお待ちしております。